

校長室の窓から ～夢の扉 第39号～ 枋木編

R 2 . 1 . 1 2 (火)

いよいよ大学入学共通テストです。

文責 学校長



～焦らず・弛まず・怠らず・挫けず・驕らず・諦めず～

1 目標の8割取れたら儲けもの。

いよいよ「大学入学共通テスト」が今週末(1/16・17)に迫ってきました。3年生は日頃の成果が十分に発揮できるように最後の総復習と体調管理に万全を期しましょう。従来のセンターテストよりも難易度は上がると予想されますので、多少難しい問題が出題されても、今までとは傾向の違う出題がなされても、「周りの受験生も自分と同様に驚いているだろうなあ、焦っているだろうなあ。」と冷静にとらえ、「**自分の目標の8割取れたら儲けもの**」と大きく構えて、新テストに臨みましょう。結果は「**努力したしこ**」しか出ません。実力以上の結果を出そうと意気込む必要もありません。入試の本番は国公立大学個別入試(前期・中期・後期)・私立大学入試です。「**焦らず・弛まず・怠らず・挫けず・驕らず・諦めず**」入試本番(2月・3月)まで頑張り抜きましょう。



2 九州でもコロナ感染拡大。バドミントン九州大会(宮崎大会)も中止となりました。

先週の1月8日(金)から1都3県(東京・埼玉・千葉・神奈川)に緊急事態宣言が出されましたが、さらに対象となる県が増える模様です。九州地区も拡大が止まらず、佐賀でも増加傾向にあります。地元武雄市でも感染者が出ています。また、1月9日(土)・10日(日)に本校の女子チームが出場する予定であった「九州地区高等学校バドミントン競技大会」(宮崎県高鍋市で開催予定)も、開催地・宮崎県が新型コロナウイルス感染者の拡大状況にあるため、急遽中止となりました。バドミントン部の諸君の気持ちを考えると、折角勝ち取った切符だったので、気の毒でありませんが、この悔しさをバネに更なる成長・飛躍を期待します。

3 今週の話事成語・・・「羹に懲りて膾を吹く」【問題】英語で表現すると? 類義語は?

前の失敗に懲りて、度を越して用心深くなることのたとえ。

(出典:『楚辞』より)

【由来】熱い吸い物で口をやけどした者が、なますのような冷たい料理も吹いて冷ますという意味から。多く、なにもそこまで用心深くなる必要はないのに、というあざけりの気持ちを込めて使います。「羹(あつもの)」とは、野菜や魚肉を入れて作る、**熱い吸い物**のことです。「膾(なます)」とは、現在は酢などで味付けをした冷たい和え物のことですが、そもそもは獣や魚の肉を細かく切った**生肉**のことを言いました。『楚辞・九章』には、「羹に懲りて膾を吹くように、用心深く身の安否を顧みよ」という意味で使われています。



4 今日の一言・・・井深大氏(栃木県出身)の言葉です。

○人生で出会う出来事はすべて何かを教えてくれる。

○トライ・アンド・エラーを、繰り返すことが経験、蓄積になる。独自のノウハウはそうやってできていく。



【解説】ソニーの創業者・井深大氏の言葉。昭和・平成の日本を支えた、世界で一番知られている日本企業となっていく「SONY」を創り上げた信念が込められた言葉です。

【井深大について】井深大(いぶか まさる/1908-1997)は、栃木県上都賀郡出身の実業家、電子技術者。盛田昭夫(もりた あきお/1921-1999)と共にソニーの創業者の一人として知られる人物であり、同社を世界企業に育て上げ、日本初のテープレコーダーや日本初のトランジスタラジオを開発。特に同社が発売した携帯型ステレオカセットプレーヤー「ウォークマン(WALKMAN)」は、どこでも音楽を聴くことのできる製品として大きな話題となり、世界的な大ヒットを記録しました。1991年に勲一等瑞宝章を受章、1992年に英国王室から名誉大英勲章とナイト爵の称号を受けています。(参考文献:ウィキペディア+楽天ブックス)

5 入試によく出る漢字・・・『最重要ベスト100』から・その5 いくつ書けますか?

- ①学問の発展にコウケンする。 ②社会のチツジョを乱してはならない。 ③金のチクセキが国力を増強した。
- ④弾圧に対して激しくテイコウした。 ⑤彼の合理主義はテッテイしている。 ⑥ナットクのいくまで何度もやってみる。 ⑦ニンシキ不足だった。 ⑧バクゼンとしていて具体性がない。 ⑨蚊のバイカイによって伝染する。
- ⑩ボールがコを描いて飛ぶ。 ⑪ケンチョな兆候が現れる。 ⑫ゲンミツに言えばこの答は誤りだ。
- ⑬利益を消費者にカンゲンする商法。 ⑭成長の過程をカンサツし記録する。 ⑮寒冷前線がテイタイしている。
- ⑯文系から理系に方向テンカンする。 ⑰権利をホウキしたものと見なす。 ⑱彼はいつもソツョクに物を言う。
- ⑲問題のカクシンに触れる。 ⑳他の組合とユウゴウして連合会となる。

6 今週の一冊・・・村上春樹の『一人称単数』（文芸春秋）です。

「一人称単数」とは世界のひとかけらを切り取る「単眼」のことだ。しかしその切り口が増えていけばいくほど、「単眼」はきりなく絡み合った「複眼」となる。そしてそこでは、私はもう私でなくなり、僕はもう僕でなくなっていく。そして、そう、あなたはもうあなたでなくなっていく。そこで何が起こり、何が起こらなかったのか？「一人称単数」の世界にようこそ。

(参考：本書裏表紙説明より)

【解説】村上春樹の最新刊を図書館で借りて読んでみました。教員になりたての頃『ノルウェイの森』に出会い、『1Q84』、『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』、『騎士団長殺し』『東京奇譚集』等読み進めていくといつの間にか村上春樹の文体の虜になっていたように感じます。世界中に「ハルキスト」と呼ばれる熱狂的なファンがいて、ノーベル文学賞を毎回期待されている平成を代表する作家の一人です。彼の描く作品世界は常人には理解しがたい哲学的な「村上ワールド」とも呼ぶべき独特の世界観があり、一度足を踏み入れた読者は引き込まれ、中毒になるファンも多いようです。長編小説は一文がとてつもなく長く、読者は読解力に加え忍耐力も要求されます。今回の作品は8作からなる短篇小説集で一文も短く、軽く読了できる作品で摩訶不思議な村上ワールドが展開されます。

【著者・村上春樹について】1949（昭和24）年、京都市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。1979年『風の歌を聴け』（群像新人文学賞）でデビュー。主な長編小説に、『羊をめぐる冒険』（野間文芸新人賞）、『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』（谷崎潤一郎賞）、『ノルウェイの森』、『国境の南、太陽の西』、『ねじまき鳥クロニクル』（読売文学賞）、『海辺のカフカ』、『アフターダーク』、『1Q84』（毎日出版文化賞）、『騎士団長殺し』がある。『神の子どもたちはみな踊る』、『東京奇譚集』などの短編小説集、エッセイ集、紀行文、翻訳書など著書多数。（参考：新潮社HP）

7 日本全県の名所とスイーツめぐり…第39回は栃木県です。

○名所 (参考：「ぐる旅」その他より)

◆日光東照宮・・・世界遺産『日光の社寺』の一つ、日光東照宮。250年以上もの太平の世を築いた徳川家康が祀られています。建てられたのはおよそ400年前、現在のほとんどの建造物はその20年後、1636年に徳川家光によって建て替えられたものといわれています。有名な『三猿』や『眠り猫』を含む彫刻は5000以上。ぜひ実際に訪れて、絢爛豪華な装飾の数々をその目で見てください。そのシンボルである国宝「陽明門（ようめいもん）」が2017年、44年ぶりの大修理を終えて公開されました。美しくよみがえった彫刻の数々を鑑賞するなら今がおすすめ！パワースポットとしても名高い日光へ、大人旅に出かけてみませんか。

◆華厳滝・中禅寺湖・・・四十八滝といわれるほど多くの滝が点在する日光の中でも、もっとも有名なのが華厳の滝。日本三大名瀑の一つ。男体山の噴火によって作られた中禅寺湖の流出口となっていて、最大水量は30t近くになるほど。湖ではクルージングが、滝では観瀑台からの鑑賞がオススメ。セットで紹介してはいますが、ぜひ両方とも、別々に訪れてみてください。観瀑台まではエレベーターが通じ、97メートルの岩壁を一気に落ちる様子がみられます。

○スイーツ・土産

【御用邸チーズケーキ】（チーズガーデン五峰館）何種類ものクリームチーズをブレンドして濃厚な味に仕上げた有名なチーズケーキです。しっとりとしていて滑らか、口の中に入れると溶けていく感じです。ケーキが苦手な人でもこれなら食べられるかもしれません！那須高原では有名で若者にもとても人気があります。

【大麦ダクワーズ】（大麦工房ロア）「大麦ダクワーズ」はモンドセレクション金賞を3回受賞しており、フランスの伝統菓子「ダクワーズ」を世界で初めて「二条大麦100%の麦こがし」を使用して焼き上げたものです。メレンゲ生地にアーモンドクリームをはさみ、サクッとした食感とほんのりある甘味が味わえる栃木銘菓です。

8 保護者の皆様へ…首都圏に緊急事態宣言が発出されました。

1月7日（木）に東京を中心とした一都3県に対して「緊急事態宣言」が出されました。佐賀県でも年末年始に県外から帰省した方からの家庭内感染例も報告されています。本校でもご家庭がPCR検査の対象（濃厚接触者）となったケースも出てまいりました（結果は陰性）。県内の高校でも同様のケースが数多く報告されているようです。感染のリスクはもうそこまで近づいている状況です。引き続き、感染防止策、不要不急の外出自粛にご協力ください。

【表面の問いの答】◆ The burnt child dreads the fire. (やけどをした子供は火を怖がる) ◆ He that has been bitten by a serpent is afraid of a rope. (蛇に噛まれた者は縄を怖がる) ◆ A scalded cat fears cold water. (煮え湯でやけどをした猫は冷水を恐れる) ◇類義語「蛇に咬かまれて朽ち縄に怖じる」

- | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ①貢献 | ②秩序 | ③蓄積 | ④抵抗 | ⑤徹底 | ⑥納得 | ⑦認識 | ⑧漠然 | ⑨媒介 | ⑩弧 |
| ⑪顕著 | ⑫厳密 | ⑬還元 | ⑭観察 | ⑮停滞 | ⑯転換 | ⑰放棄 | ⑱率直 | ⑲核心 | ⑳融合 |